

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	瀬戸内市民図書館			代表者名	小林 裕治
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	瀬戸内市民図書館	連絡先電話番号	0869-24-8900
担当者役職	館長補佐	担当者氏名	横山 ひろみ	連絡先E-mail	
住所	701-4221 岡山県瀬戸内市邑久町尾張465-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	デジタル化時代における図書館サービス推進事業
概要	現在、図書館を利用していない世代や来館が困難な方の利用増加を目指して、電子図書館を導入し、地域住民のデジタル活用を積極的に推進する。また、地域資料・郷土資料のデジタルアーカイブシステムと電子書籍・従来の図書館資料の連携による学習環境の向上や郷土学習をより深めるための助言をいただきたい。		
支援を求める分野	EBPM人材(DX推進のための機運の醸成)人材(DXに関する知識習得・研修・育成)自治体システム調達/地域情報プラットフォーム デジタルデバインド対策 教育情報化/情報教育 デジタルアーカイブ/図書館 ICT活用広報		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年9月26日	支援・助言(実地)	13時30分	15時30分	
				活動時間(分)	120
2-2.	会場名	瀬戸内市民図書館	最寄駅	JR赤穂線邑久駅	
派遣場所	所在地	岡山県瀬戸内市邑久町465-1	最寄駅からの交通手段	徒歩10分	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	岡本 真
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	当市の要望に対して、的確に捉え、現状認識と課題解決につながる具体的なアドバイスを聞くことができたから。
アドバイザーへの要望事項	今後も、全国の情勢を踏まえた検討課題や当市の図書館経営に示唆を及ぼす情報提供をお願いしたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	26人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	26			
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果					
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	図書館の利用については、貸出冊数は増加する一方、実利用率(市の人口に対して、図書館を1年に1度以上利用する人の割合)が伸び悩んでいる。そこで、利用していない世代や来館が困難な方に向けて、電子書籍の導入を検討するにあたり、客観的かつ先進的な視野からの助言が不可欠と考える。				
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	電子書籍のメリット・デメリットや導入する際の最適な方法について、行政職員が理解し、今後の方針を決定すること。				

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	電子書籍導入の行政的評価の捉え方、政策的・財源的に持続可能な導入モデルを構築することの重要性。 すでに、当市で構築済のシステムの活用方法、先進的なモデルの紹介。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	行政職員が、電子書籍のメリット・デメリットを、理解することができた。先進的な事例紹介、導入する際の時期、方法も具体的に提案していただき、今後、将来を見据えた議論の際に大変参考になる内容だった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	市民が電子書籍への理解を深めることと、DXの推進。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 添付ファイル参照。(自由記述欄は、続けて行った研修の感想を書かれている方もいます。)	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定 次回は、市民向けに電子書籍のメリット・デメリットをご教示願いたい。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	デジタル化時代における資料提供サービスとして、電子書籍の導入を積極的に検討する。地域住民のデジタル活用を推進するとともに、新たな図書館サービスを構築する。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

掲載許可

掲載可

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

